



保健目標

正しい手洗いと

咳エチケットを

覚えましょう

ほけんだより

第 418 号 令和 4 年 12 月 1 日 光明第五保育園

毎日寒い日が続き本格的な冬がやってきました。空気が乾燥し感染症が流行り始める季節です。今年は、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行することが危惧されています。日頃から家庭でも感染症予防を心掛け、毎日元気に過ごしましょう



鼻水が長引くのは病気のサイン？

鼻は呼吸や病気の予防の役割があります。気になる症状があるときは、受診をしましょう。

風邪をひいていないのに、鼻が詰まったり鼻水が出ている→アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎等の疑い

鼻詰まりがあり、しきりに耳を触る→急性中耳炎の疑い



いつも目ヤニや鼻水が出ている→結膜炎や鼻涙管閉塞の疑い



「感染症予防対策」

保育園では感染症が拡大することが無いよう、日頃から感染症予防対策に努めています。その一つに、全職員を対象に行う「感染予防」の内部研修があります。新型コロナウイルスだけではなく、他の感染症も適切な感染症対策ができるよう再確認をしています。



元気に冬を乗り切るために、手洗いと咳エチケットを!!

手洗いは、だれでも簡単にできる感染予防です。ウイルスや細菌などを体の中に入れないために、石鹸を使って丁寧に手を洗いましょう。手を洗ったら、流水で、しっかりと汚れ（泡）を洗い流しましょう。

咳やくしゃみでウイルスや細菌が外に飛び出します。飛び出した飛沫は 1m~2mほど飛ぶと言われています（飛沫感染）。また、咳やくしゃみが出るときに手で覆ってしまうと、手の平にウイルスや細菌が付き、手を洗わずにいろいろなところに触れてしまうとそこから感染させてしまう可能性があります（接触感染）。感染症を広げないためにも咳エチケットを心掛けましょう。

正しい手洗い



洗い残しが多い部分



咳エチケット

